

# 売れる「新潟なんかん米」づくり運動技術情報

## 品質向上対策3本柱！

- ①適正籾数確保 (小できな稲づくり)    ②後期栄養・水の確保 (粒張りの良い米づくり)    ③土づくり (気象変動に強い稲づくり)

平成18年4月 日  
新潟なんかん米改良協会  
〇〇農業振興会議  
JAにいがた南蒲  
新潟県三条農業普及指導センター

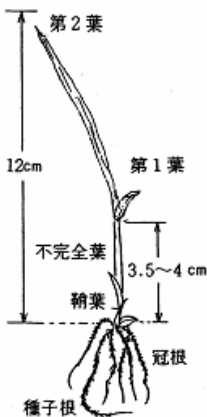
品質向上の第一歩。5月10日以降田植えに合わせて春作業を始めましょう！

は種4月20日以降 → 5月10日以降田植え → 8月5日以降出穂 → 品質向上!!

## 1 は種

1箱あたり乾もみ130g (催芽もみ160g) の薄まきにしましょう。

## 2 稚苗育苗管理のポイント

時期	出芽期	緑化期	硬化期
実施期間	2～3日 (無加温 5～7日)	2～4日間	12～13日間
被覆	・無加温の場合資材の特徴に注意する。シルバーラブは内部温度が高まりやすいがヤケやすい。ミラーシートはヤケにくいが保温性良く内部温度が高まりにくい。	・3日間程度被覆する。 ・緑化終了の目安は第1葉が完全に展開した頃 (タイミングが遅れると腰高になる)。	・夜間冷える時は早めにハウスを閉める。
温度	昼 30～32℃ 夜 30～32℃	20～25℃ 15～18℃	15～20℃ 10℃以上
かん水	・は種時にタツプリ。	・1日1回10時までに行う。	・前半は1日1回。後半は乾き具合をみて午前・午後の2回 (夕方はさける)。
換気	・無加温の場合、35℃にならないよう換気する。	・25℃以上の場合ハウスを開ける。	・田植え前1週間くらいから夜間もハウスを開放する。
その他	・出芽期間が長いと徒長苗になりやすい。 ・覆土のもち上がりが見られたらかん水して覆土を落ち着かせる。	・根張り・苗質はここで決まる。 ・第1葉が展開したら硬化に移る。 ・ヤケ苗が心配の場合は被覆資材をミラーシート等に替える。	・田植え前4～5日に窒素成分で1～2gの追肥をする。(追肥後散水し苗ヤケを防ぐ) ・早めの換気で苗丈を伸ばさない。
生育の目標	・出芽長 0.5～1cm	・第1葉鞘長 3.5cm	

昨年、各地で坪状に苗が枯れる「もみ枯れ細菌病」が多発生しました。細菌性病害は高温を好むので、上表の温度を守り高温にならないようにしましょう。